

# FRONTIQUE JOURNAL 2019.08 vol.013

FRONTIQUE GROUP  
経営計画発表会 第29期フロンティア株式会社  
第37期フロンティア・デザイン株式会社

FRONTIQUE GROUP  
経営計画発表会 第29期フロンティア株式会社  
第37期フロンティア・デザイン株式会社



想いを、ひとつに。

フロンティア・グループ合同通信  
2019年8月号

フロンティア株式会社  
ラクアデイサービス 関 店  
ラクアデイサービス 関ひがし店  
ラクアデイサービス 岐 阜 店  
福祉用具貸与販売 ラクアアイテム

フロンティア・デザイン株式会社  
介護業務改善アプリ ラクウェア  
個別機能訓練導入コンサルティング

## フロンティアグループの、 経営計画発表会を開催。

新しい目標に向かって、  
新しいプロジェクトが動き始めます。

7月21日、フロンティアグループの経営計画発表会が、可児文化創造センター（岐阜県可児市）で開催されました。  
フロンティアグループは、現在2つの株式会社から成り立っています。ひとつはデイサービス事業や福祉用具貸与販売事業を行うフロンティア株式会社。もうひとつは、他事業所向けの業務改善アプリの提供や、個別機能訓練導入サポートなどのソリューション事業を行うフロンティア・デザイン株式会社です。  
これまでの経営計画発表会は、主にデイサービス事業中心の内容で構成されていましたが、今回は、グループの全ての取り組みの方向性や関連性に重点をおいて開催されました。  
当グループの今期の目標は、「5年後も社会に必要とされるデイサービスに成長し、その仕組みを他のデイサービスに広める。」です。

2020年が目前に迫り、我が国はいよいよ本格的な超高齢化社会に突入しました。要介護者や認知症高齢者の急激な増加が予想される「2025年問題」をはじめ、社会保障費の増大や、圧倒的な人材不足など、介護業界を取り巻く環境は年々厳しくなっており、私たちがのような介護事業者は、いままさに変革を求められています。

そんななかで、フロンティア・グループでは、デイサービス事業や福祉用具貸与販売事業を中心に、今後の在宅介護に求められる高品質なサービスを開発し、「次世代のデイサービス」の姿を自分たちの手で創造していきます。

そして、その過程で培った新しい仕組みやサービスを、同じ志や課題をもつ他事業者様にお役立ていただけるよう、ソリューション事業も積極的に展開していきたいと考えています。

社員のひとりひとりが自分たちの事業の目的や、与えられた仕事の役割をしっかりと理解するために、経営計画発表会は開催されています。代表から語られる各事業の目標や意味に、真剣に耳を傾ける社員の姿が多く見受けられました。

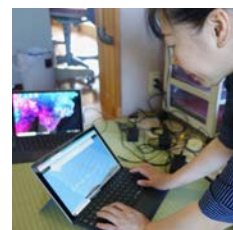
株式会社経営志援 代表取締役の志賀 弘幸氏、税理士法人TACT 高井法博会計事務所の戸田 達也氏、B&M株式会社の山口 勝喜氏からの応援演説も頂戴し、厳粛な雰囲気ながらも、心地よい緊張感に包まれた経営計画発表会となりました。

その後開催された懇親会では、自分の所属する店舗とは違う店舗の社員と笑顔で交流する姿が見受けられました。また、今期から着用する新ユニフォームの発表もあり、社員にとって、とても充実した時間となりました。

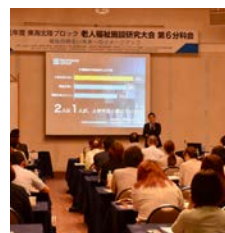
今後もフロンティアグループは成長し続けます。これからも、当グループの取り組みにご期待ください。



## DESIGN デザイナーサービス ソリューション



## LAQUA デザイナーサービス



## 東北 山形県鶴岡市 社協様、 全施設にラクウェア導入完了。

当初は来年度を予定していた、全施設導入。  
大幅に予定を前倒してご導入いただきました。

昨年10月に弊社を訪問され、11月よりラクウェアを全8施設中、2施設に導入いただいていた山形県鶴岡市 社会福祉協議会様が、当初は来年度だった予定を大幅に前倒して、全施設でラクウェア運用を決定されました。

7月上旬、弊社のソリューション事業担当の河合が鶴岡市を訪れ、数日間かけて全施設にラクウェアを納品してきました。約5日間、車での総移動距離は380kmに及びましたが、1施設1施設できるかぎりスムーズな運用開始になるよう、直接ご説明させていただきました。

スマートフォンが普及し、インターネットを介してアプリやサービスをダウンロードして一定額を支払う、いわゆるサブスクリプション型のサービスが一般的になってきましたが、弊社は1施設1施設アプリを導入を直接お届けしています。

お客様としっかりと信頼関係を築き、デイサービスを運用する同じ事業者として、ICTを導入する真の意味や価値をしっかりと共有していくことが、通所介護のICT導入で不可欠だと考えているからです。

私たちが提供したいのは、単なるアプリケーションではありません。アプリケーションによって生まれた時間で、デイサービスの品質が上がることや、社員のやりがいや生まれる働き方の実現、他の事業所と繋がって学び合える環境などです。アプリケーションは、そういった「目的」を達成するための「手段」に過ぎないのです。

## 東海北陸ブロック 老人福祉施設研究大会で、 働き方改革について講演。

7月18日、19日の2日間、福井県福井市のフェニックス・プラザやザ・グランユアーズフクイなどの会場で「令和元年度 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会」が開催されました。この大会は、東海北陸ブロック老人福祉施設協議会に加盟している法人の経営者や管理者などを中心に、約1,200名が参加されました。今回、弊社も岐阜県代表5法人の1つに選定され、「福祉の明るい未来へのイメージアップ」をテーマとする分科会において、「ICT/IoTを用いた、通所介護の働き方改革」という内容で弊社の取り組みをご紹介させていただきました。

他の社会福祉法人や株式会社の取り組みも大変素晴らしく、非常に多くの学びを得た2日間となりました。